

一般財団法人古橋会  
平成27年度事業報告書

I 公益目的支出事業（実施事業）

1. 先哲の顕彰（定款第4条第1号）

- (1) 郷土の先哲古橋源六郎暉兒の頌徳碑と、その園地に祀る祖霊社（町民祖先、関係功労者、戦没殉難者）の例祭は、春は稲武町自治区と共催で4月5日（日）、秋は勤労感謝の日11月23日に古橋会の山の講と兼ねて、報恩の誠を捧げた。
- (2) 慶応元年（1865）に古橋源六郎暉兒により創設された伊勢神遙拝所の祭祀は、毎年10月17日に斎行されており、本年度も当日理事長が玉串奉奠の後、直会の最初に来賓として暉兒を顕彰するとともに地元の協力に感謝する挨拶をした。平成24年をもって一区切りした祭祀は、以後、明川及び連谷自治区の両自治区により再出発することになった。  
平成25年に発足したボランティアグループの「伊勢神峠を愛する会」が伊勢神峠周辺の環境整備をサポートしている。

2. 古橋懐古館の運営など社会教育の振興（定款第4条第2号）

(1) 平成27年度の展示

次の通り、常設展、企画展、特別展を開催した。

① 常設展

- (1号館2階) 幕末維新を彩る群像のテーマ別展示（維新の先駆者、吉田松陰と松下村塾、安政の大獄、幕末に活躍した幕臣、幕末の諸事件、西郷南洲及び坂本龍馬をめぐる人々）
- (3号館) 民俗資料の展示

② 企画展（1号館1階の1-1号室）

- イ 「古橋家中興の祖六代古橋源六郎暉兒」展
- ロ 「稲武をこよなく愛した芳賀 登と古橋家文書研究会の五十年」展

③ 特別展

- イ（1号館1階の1-2号室）  
富士山の世界文化遺産登録記念「仰ぎ見る富士山」展
- ロ（2号館）  
明治人の手紙

(2) 郷土の活性化への協力

さくらまつり、もみじまつり、中馬のあかりを灯す会、旧暦で飾るおひな様等、郷土の各種イベントに会場を提供、スタンプラリー、入館料の値下げ等々、郷土の活性化の為出来るだけの協賛をした。

(3) 懐古館資料集第6刊行への準備

古橋千嘉子前館長が逝去直前まで取り組んだ懐古館所蔵の書画の内容を解説する資料集第6（御宸筆、公卿、武将、大名、高僧、義士等）の出版に向け準備し、27年度中に刊行予定であったが、28年度に延期となった。

(4) 企画管理体制の強化

学芸員を採用し、古文書の燻蒸処理等管理体制及び展示等の企画運営体制の充実強化を図った。

### 3. 教育普及活動の推進

#### (1) 夏季合宿研修会の開催

古橋懐古館は、奥三河の歴史・文化学習と交流の場として、東京家政学院大学西海ゼミと帝京大学文学部史学科の「地理学野外実習Ⅰ・Ⅱ」を受け入れた。

東京家政学院大学西海ゼミ合宿（8月17日～19日）では、稲武養蚕の歴史についての勉強と卒業論文の報告を行った。

帝京大学文学部史学科の第1回目にあたる「地理学野外実習Ⅰ」（8月29日～31日、参加教員・学生合計24名）において、学生たちは稲武地区を歩き、観察調査を行い、その成果を地図化した（土地利用図）。

第2回目の「地理学野外実習Ⅱ」（9月19日～21日、参加教員・学生合計26名）では、学生たちは、歴史・人形浄瑠璃・自然・食文化・観光の5つの班に分かれ、稲武地区の方々に聞き取り調査をし、その成果をそれぞれ報告としてまとめた。古橋懐古館では「大学生から見た稲武の歴史と地理」をテーマに平成28年度前期の企画展とし展示紹介している。

#### (2) 交通史学会の開催

交通史学会の秋季大会（9月19日～20日、参加会員15名）は古橋会の後援で「三河の交通と交易を顧みる－宿駅・中馬・信仰を中心にして－」を主題として稲武で開催した。

第1日目のシンポジウムは豊田市稲武交流館で開催された。西海賢二古橋懐古館館長は「伊勢信仰と街道－古橋家文書から見る」、愛知大学教授・渡辺和敏氏は「江戸時代の三河の交通」、元豊田市郷土資料館学芸員・松井孝宗氏は「川舟と中馬－足助を中心にして」をテーマに講演を行った。一般公開とし聴衆は100人以上で交流館大会議室は満杯となり盛況裡に終了した。

第2日目は古橋会常務理事の先導で、古橋懐古館など稲武町内、鳳来寺、新城市設楽ヶ原歴史資料館、長篠城址、長篠城址史跡保存館などを巡見した。

#### (3) 懐古館館長の出前講座開催

西海古橋懐古館館長は、古橋家、稲武をはじめ日本の歴史と民俗について講座・講演を実施した。講座「古橋家文書研究会の五十年」（11月21日）、「仰ぎ見る富士山～信仰の対象と芸術の源泉～富士山世界文化遺産によせて」（2月27日）、「稲武にもあった花祭り」（3月5日）を開催した。

### 4. 奨学金の支給など学術・技芸の普及奨励（定款第4条第3号）

#### (1) 奨学金

平成20年3月31日を以て田口高校稲武校舎が廃校となったので、稲武中学校卒業生で高校へ進学する全員を支援することとしたが、本年度もこれを継続し、足助高校通学者には、バス通学定期券を支給し、他高校進学者にもこれと同額の奨学金を支給した。

なお、高校1年生に対しては、従来の支給額の80%を支給し、20%は稲武中学校へ助成した。

27年度は、支給人員49名、支給総額は6031万円となった。

25年度からの支給に当たっては、理事長あてに「高校等へ進学する理由及び将来への夢」について作文の提出を新たに条件としたが、本年度も全員から提出があった。

#### (2) 稲武中学校への助成

稲武中学校生徒の学習環境の改善のため「一般財団法人古橋会稲武中学校への教育支援規定」に基づき、情報端末（タブレット端末）等の教材購入について助成した。（22台、193万円）

### (3) 懐古館所蔵民俗資料の調査

西海古橋懐古館館長（東京家政学院大学教授、古橋家文書研究会のメンバー）は、古橋懐古館所蔵の民俗資料を調査し、その調査研究を基に写真を多く取り入れた「山村の生活史と民具―古橋懐古館所蔵資料からみる―」と題した著書にまとめ、著書は平成27年6月末に財団から刊行された。

## 4. 農林業その他産業の奨励（定款第4条第4号）

(1) 古橋林業研究所が試験研究を重ね、古橋会の山林で実践し、拡大してきた非皆伐施業複層林を継続すると共に、地域に即した低コスト林業の促進をはかるとともに地球温暖化防止対策の一助にもなるとして設定した展示林を、引き続き一般に公開してその普及を図った。

(2) 非皆伐施業複層林を導入して40年、上木は100年を経過したので、名古屋大学大学院生命農学研究科の近藤稔助教の協力を得てその調査研究を進めている。

27年度は、六郎木山林で群状択伐におけるヒノキの天然更新の可能性について調査研究した。

(3) 愛知県設楽町西納庫本洞地区4.5haを「あいち森と緑づくり造森林整備事業」で間伐を実施してきたが、27年度は、設楽地区の井ノ口山林（1.1ha）で間伐を実施した。

(4) 大日本蚕糸会の意見を受けて、生繭を増産するため、その基盤となる桑畑の整備を行った。

(5) 古橋懐古館周辺を「ものづくりの発信基地」として整備した。

① 林業サロンを「中馬のあかりを灯す会」に無償貸与し、ランプシェードの製作、体験の場とした。

② 繰糸舎を稲武地域の養蚕の歴史等の展示場として整備した。

③ 懐古茶屋を稲武材、三河材を使用して家具等木製品を製造販売する「ファーストハンド」に賃貸し、ぬくもりと安らぎのある場に改造した。

「ファーストハンド」は飲食店営業許可を得て、平成27年4月4日オープンした。

(6) 古橋翁頌徳会事務局を引受け、まゆっこクラブに、まゆっこセンター、繰糸舎及び桑畑を提供し、稲武献糸会を継続支援した。

伊勢神宮献糸は、明治15年にはじめて以来、27年度の献糸が134年目で、11月6日に豊田市稲武献糸会、まゆっこクラブとともに献納した。

## 5. 公益事業の助成および救恤（定款第4条第5号）

(1) 大井平公園は、稲武地域の中央公園として位置づけられ、春秋賑わいを増してきた。

豊田市によって計画された名倉川の吊橋も実現し、続いて大井平用水の景観改良事業も愛知県によって進められてきたが、一部未完の遊歩道については28年度に豊田市が実施することになった。古橋会としても事業に支援協力している。

(2) 懐古館駐車場を整備し、一般に開放している。

## II その他事業

### 1 県外山林の管理

(1) 飯田市南信濃区所在山林見込400ha、天竜村所在山林見込み600haは非皆伐施業複層林の導入を条件に、地元自治体と5分5分の分収契約を締結している。

南信濃地区については、平成17年に施業計画に基づき間伐を実施したが、その後は実施されていない。

天竜村地区については、28年3月森林経営委託契約書案が天竜村より提示されたが不明な事項

が多く28年度に持ち越すことになった。

- (2) 富士山麓山中湖畔の山林（1反2畝、1166㎡）について、隣地者より境界確認の申し出があり正当な境界と認めた。

### Ⅲ 法人会計

- 古橋会の基本財産は、山林が主体であり、非皆伐施業複層林を提唱し、間伐を促進し、持続的林業を実践した。
- 財団の賃貸する土地、家屋等については、賃貸借契約書の締結により法律関係を整備している。
- 老朽化した管理施設を整備保全した。

### Ⅳ 庶務の概要

#### 1. 役員に関する事項（平成28年3月31日現在）

役名	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長 (代表理事)	古橋源六郎	平26.6.29 重任	文化遺産を未来につなぐ森づくり の為の有識者会議共同代表	元総務事務次官
常務理事 (業務執行理事)	古橋正光	〃	理事長を補佐し、財団の常務を実行	元名鉄部長
理事	横山要三	〃	弦竹会会長	元稲武町議会議長
〃	青木克夫	〃	稲橋八幡神社宮司	元稲武町教育長
〃	古橋敬義	〃	NTTレゾナント(株)勤務	
〃	松嶋清元	〃	名古屋市野外教育センター勤務	
監事	古橋義人	〃	古橋クリニック院長	元名大医学部講師
〃	小木曾慶吾	〃	農林業	元稲武町議会議員
評議員長	古橋隆四郎	平24.4.1	農林業	前稲橋八幡神社宮司 元稲武町議会議長
評議員	安藤宏	〃	農林業	元トヨタケ工業常務
〃	九沢俊一郎	〃	農林業	元稲武町シルバー人材センター事務局長
〃	古橋幹雄	〃	農林業	元(株)甲羅勤務
〃	古橋輝道	平26.4.1	東京都東村山市役所勤務	

## 2. 職員に関する事項

職 名	氏 名	就職年月日	担当事務	備 考
古橋懐古館館長	西 海 賢 二	平 2 6 . 4 . 1	古橋懐古館統括	東京家政学院大学教授、歴史学、民俗学博士
古橋懐古館 学芸担当	張 艷	平 2 7 . 4 . 1	古橋懐古館学芸担当	
〃 事務員	山 本 サナエ	平 2 5 . 4 . 1	庶 務	
〃 〃	福 田 玲 子	〃	〃	
〃 〃	黒 木 幸 子	昭 4 2 . 4 . 1	〃	

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

年 月 日	議 事 々 項	結 果
平 2 7 . 5 . 3 1	<承認事項>	可決
	1. 平成26年事業報告承認の件	〃
	2. 平成26年度正味財産増減計算書承認の件	〃
	3. 平成26年度末貸借対照表及び財産目録承認の件	〃
	4. 公益目的支出計画実施報告書の行政庁（愛知県）への提出の件	〃
	5. 定時評議員会の開催の件	〃
	<報告事項>	了承
	1. 事務手続き簡素化のための役員報酬口座振込の件	〃
	2. 「山村の生活史と民具－古橋懐古館所蔵資料から見る」刊行の件	〃
	3. 帝京大学合宿研修の件	〃
	4. 財団が所有する書画等を収納する蔵の燻蒸の件	〃
平 2 7 . 1 0 . 1 8	5. 「あいちの偉人 12の話」刊行の件	〃
	6. 雑誌「季刊行政相談」掲載記事の件	〃
	<報告事項>	了承
	1. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告（27/4～9）の件	〃
	2. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告（27/4～9）の件	〃
	3. 愛知県知事来訪の件	〃
4. 稲武地域を活性化させるための意見（豊田市稲武支所提出）件	〃	
5. 豊田市近代の産業とくらし発見館開館10周年記念企画展「幕末に百年先の未来を考えた古橋源六郎暉兒」の件	〃	

	6. 古橋懐古館特別展「古橋家中興の祖6代古橋源六郎暉兒」の件	〃
	7. 古橋懐古館企画展「稲武をこよなく愛した芳賀登と古橋家文書研究会の50年」の件	〃
	8. 帝京大学学生等合宿研修の件	〃
	9. 古橋家文書の燻蒸処理の件	〃
	10. 交通史学会秋季大会の件	〃
	11. 中馬街道人馬パレード開催の件	〃
	12. 大井平公園巨木の森における森林教室開催の件	〃
平28.3.20	<承認事項>	可決
	1. 平成28年度事業計画書承認の件	〃
	2. 平成28年度収支予算書承認の件	〃
	3. 評議員会開催の件	〃
	<報告事項>	了承
	1. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(27/10~3)の件	了承
	2. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(27/10~3)の件	〃

(2) 評議員会

年月日	議事々項	結果
平27.6.7	<定款等に定められている事項>	了承
	1. 平成26年度事業報告書報告の件	了承
	2. 平成26年度正味財産増減計算書承認の件	可決
	3. 平成26年度末貸借対照表及び財産目録承認の件	〃
	4. 公益目的財産額の確定に係る書類の行政庁(愛知県)への提出の件	〃
	<報告事項>	了承
	1. 事務手続き簡素化のための役員報酬口座振込の件	了承
	2. 「山村の生活史と民具 古橋懐古館所蔵資料から見る」刊行の件	〃
	3. 帝京大学合宿研修の件	〃
	4. 財団が所有する書画等を収納する蔵の燻蒸の件	〃
	5. 「あいちの偉人 12の話」刊行の件	〃
	6. 雑誌「季刊行政相談」掲載記事の件	〃
	1. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(27/4~9)の件	了承
	2. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(27/4~9)の件	〃
	3. 愛知県知事来訪の件	〃
	4. 稲武地域を活性化させるための意見(豊田市稲武支所提出)の件	〃
	5. 豊田市近代の産業とくらし発見館開館10周年記念企画展「幕末に百年先の未来を考えた古橋源六郎暉兒」の件	〃
	6. 古橋懐古館特別展「古橋家中興の祖6代古橋源六郎暉兒」の件	〃

平27.10.18	7. 古橋懐古館企画展「稲武をこよなく愛した芳賀登と古橋家文書研究会の50年」の	〃
	8. 帝京大学学生等合宿研修の件	〃
	9. 古橋家文書の燻蒸処理の件	〃
	10. 交通史学会秋季大会の件	〃
	11. 中馬街道人馬パレード開催の件	〃
	12. 大井平公園巨木の森における森林教室開催の件	〃
平28.3.27	1. 平成28年度事業計画書報告の件	了承
	2. 平成28年度収支予算書報告の件	〃
	3. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(27/10~3)の件	〃
	4. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(27/10~3)の件	〃

以上